

2014年11月10日

## プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日興アセットマネジメント、3名のエグゼクティブを採用し グローバル機関投資家事業の拡大を加速

日興アセットマネジメントグループ(以下、「日興アセット」)はこのたび、国内外の機関投資家ビジネスのさらなる拡大に向け、豊富な経験を有する3名のエグゼクティブを11月3日付で採用しました。3名はそれぞれ、中東・アフリカ・アジア地域における顧客開拓、グローバルベースでのコンサルタントとの関係構築、北アジア地域におけるセールス業務を主導します。

ジョン・ハウランド・ジャクソンは日興アセット英国現地法人の副会長に就任し、中東、アフリカおよびアジア地域を担当するシニア・アドバイザーを務めます。ハウランド・ジャクソンは、各国の中央銀行や政府系ファンドと築いてきた長年の良好な関係をベースに、日興アセットのプレゼンスを高めてまいります。日興アセット入社以前はING銀行 シニア・マネジング・ディレクターを務めるなど、金融業界で40余年の経験を有します。

イアン・ルイスはシンガポールにて、グローバル・コンサルタント・リレーションズのヘッドに就任しました。ルイスは、UBS グローバル・アセット・マネジメントやタワーズ・ペリン(現タワーズ・ワトソン)などにおいて25年を超える業界経験を有します。日興アセット入社以前は、英運用会社アルデボラ・アセットマネジメントでパートナーを務めました。

チャールズ・アラードは香港にて、北アジア・セールス・ヘッドに就任しました。今後は、日興アセットが中国で事業拡大を続ける合弁運用会社「融通基金管理有限公司」などと協働しながら、洗練された投資家のニーズにお応えしてまいります。アラードは四半世紀におよぶ業界経験のほとんどをアジアにて築いており、日興アセット入社以前は英運用会社ウイントン・キャピタル・マネジメントなどにて要職を歴任しました。

取締役副会長の安倍秀雄は、「日興アセットは、日本そしてアジアを代表するグローバル資産運用会社へと大いなる進化を遂げています。この極めて重要な時期に、ハウランド・ジャクソン、ルイス、そしてアラードを日興アセットの一員に迎えることができ、非常に嬉しく思います。彼らの参画を受け、全世界の投資家のみなさまのニーズに、より迅速かつ的確にお応えしてまいります」と述べています。

以上

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興アセット)は、1959年の設立以来、さまざまな地域や資産クラスを対象とするアクティブ運用、パッシブ運用、オルタナティブ運用など幅広い資産運用サービスを提供しています。長年にわたり培ったグローバルな専門性や優れた運用能力が、リップラー、モーニングスター、マーサー、R&I、アジアインベスターなどの外部評価機関から高い評価を受けています。

日興アセットは経営の独立性を担保することでお客様の利益を最優先とする経営基盤を確立しています。この理念を背景に、三井住友信託銀行株式会社が当社株式の過半を、シンガポールのDBS銀行が一部を保有しています。

日興アセットグループ\*は、世界12カ国25拠点に1,300余名の従業員を擁し、250名超の運用プロフェッショナルが17兆円\*\*を超える資産を運用しています。銀行、証券会社、ファイナンシャルアドバイザーおよび生命保険会社などが構成する合計300社超のアジア有数の販売ネットワークを通じ、内外の機関投資家や個人投資家のお客様にサービスを提供しています。

(上記データはすべて2014年6月末現在)

\*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2014年6月末現在のデータ

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会